

*Marshall*



STUDIO 900

**SN20H & SN20C**

**QUICK START GUIDE**

## 警告！安全上の注意

ご使用前にこの取り扱い説明書をよくお読みください。すべての注意書に従い、警告を守ってください。

### 警告：

電源は必ず交流 100V を使用してください。商品に対するご相談はご購入店にご相談下さい。

### 電漏入力とヒューズ：

アンプの定格電圧はリアパネルに記載されています。

付属の電源コードをアンプ裏面の MAINS INPUT に接続してください

ヒューズの定格はリアパネルに記載されています。絶対にヒューズ回路を遮断したり、定格以外のヒューズを使用しないでください。

### 重要なセットアップ情報：

1. 外部のスピーカーキャビネットと組み合わせて使用する場合は、正しいインピーダンスのスピーカーキャビネットが接続されていることを確認してください。詳細についてはリアパネル機能の LOUDSPEAKERS の説明を参照してください。

警告：正しく接続を行わないとアンプ及び、接続機器の故障原因になります。スピーカーキャビネットの接続には専用のケーブルをご使用ください。スピーカーキャビネットの接続にギター用のシールドケーブルは絶対に使わないでください。

2. POWER スイッチと STANDBY スイッチが 0 の位置になっていることを確認してください。

3. 最初に電源コードを MAINS INPUT に接続し、次にコンセントに接続します。

4. フロントパネルのコントロールが全てゼロになっていることを確認してください。

5. ギターをフロントパネルの INPUT に接続してください。

6. POWER スイッチをオンに切り替え、数分待ってから背面パネルの OUTPUT LEVEL で出力を選択します。

7. STANDBY スイッチを 0 から 1 にします。

8. 音量をお好みの程度まで上げれば演奏可能な状態になります。

### アンプを持ち運ぶ際のご注意：

機器の電源を切った上、電源ケーブルやすべての接続ケーブルを外し移動/運搬を行ってください。

弊社のサービス、製品の改善と向上のため、事前の予告なしに製品仕様を変更する場合があります。

## 規格

### SN20H

電源	20W (5W または <1W 以下に切り替え可能)
真空管	2 x ECC83、1 x ECC83 (位相スプリッター)、2 x 5881
チャンネル	2 (共有EQコントロール付き)
イコライザー	トレブル、ミドル、バスそしてプレゼンス
出力	5 x 1/4" ジャックソケット (16Ω負荷/8Ω負荷/4Ω負荷)
エフェクト	リヴァーブ (チャンネル毎)
エフェクトループ	付属、レベルコントロール付き
フットスイッチ	付属
重量	11.5kg
幅	505mm
高さ	241mm
奥行き	235mm

### SN20C

電源	20W (5W、<1W 以下に切り替え可能)
真空管	2 x ECC83、1 x ECC83 (位相スプリッター)、2 x 5881
チャンネル	2 (共有EQコントロール付き)
イコライザー	トレブル、ミドル、バスそしてプレゼンス
出力	5 x 1/4" ジャックソケット (16Ω負荷/8Ω負荷/4Ω負荷)
スピーカー構成	1 x 12"
スピーカーモデル	Celestion G12T-75 (16Ω、75W)
エフェクト	リヴァーブ (チャンネル毎)
エフェクトループ	付属、レベルコントロール付き
フットスイッチ	付属
重量	18kg
幅	505mm
高さ	463mm
奥行き	249mm

付属品：フットスイッチ (PEDL-91050)、保証書、安全上の注意、スピーカーケーブル (SN20H のみ)

### 製品の取扱に関するお問い合わせ先

お客様コミュニケーションセンター ギター・ドラムご相談窓口

営業時間：月～金曜日 10：00～17：00 (土/日曜日・センター指定日除く)

TEL：0570-056-808 (ナビダイヤル) または 053-533-5003

URL：https://jp.yamaha.com/support/

※都合により、電話番号、名称、営業時間など変更になる場合がございます。

### 輸入販売元

株式会社ヤマハミュージックジャパン LM 事業戦略部

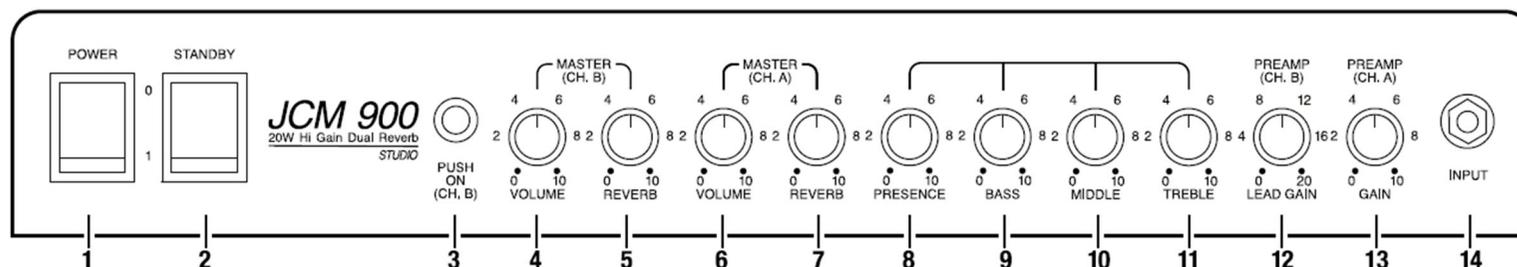
〒220-0012

横浜市西区みなとみらい 5 丁目 1 番 2 号

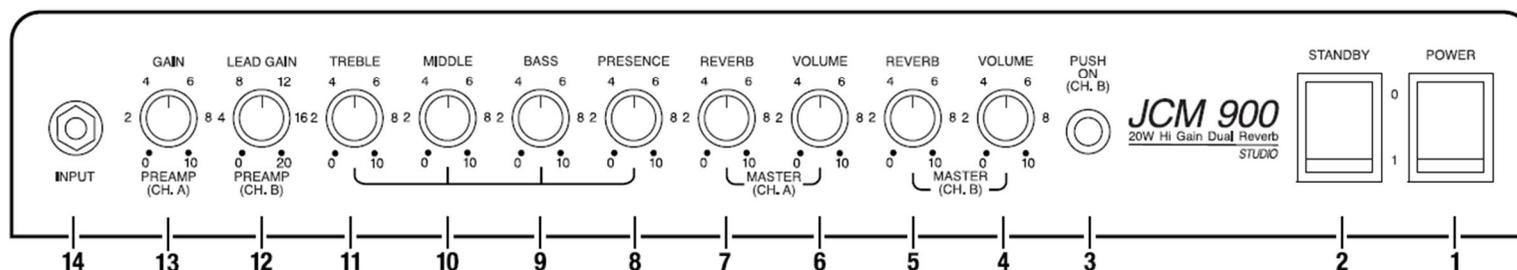
横浜シンフォステージウエストタワー

# フロントパネルの機能

SN20H



SN20C



## 1. POWER スイッチ

アンプ電源の ON/OFF スイッチです。

## 2. STANDBY スイッチ

このスイッチは使用前に POWER スイッチと併用して使用します。POWER スイッチを 1 にして数分アンプが温まるのを待ってから STANDBY を 0 から 1 に切り替えてください。スタンバイモード (0) は、休憩中に真空管の負担を軽減するためのミュート機能としても使用します。

## 3. チャンネル B 切り替えスイッチ

このスイッチをオンにしてチャンネル B に切り替えます。チャンネル B の時に LED が点灯します。

## 4. チャンネル B MASTER VOLUME

チャンネル B のマスタボリューム調整

## 5. チャンネル B REVERB

チャンネル B のリバーブ量の調整

## 6. チャンネル A MASTER VOLUME

チャンネル A のマスタボリューム調整

## 7. チャンネル A REVERB

チャンネル A のリバーブ量の調整

## 8. PRESENCE

パワーアンプ部でサウンド全体の超高周波帯域を調整します。

## 9. BASS

低域の出力を調整し、サウンドに深みと温かみを加えます。

## 10. MIDDLE

中音域の出力を調節し、サウンドに厚み加えます。

## 11. TREBLE

高音域の出力を調整し、サウンドに明るさと切れ味を加えます。

## 12. PREAMP(CHANNEL B) / LEAD GAIN

チャンネル B のゲインレベル設定。低い設定ではクラッシュなリードトーン、上げるにつれて歪みとサステインが増幅します。

## 13. PREAMP(CHANNEL A) / GAIN

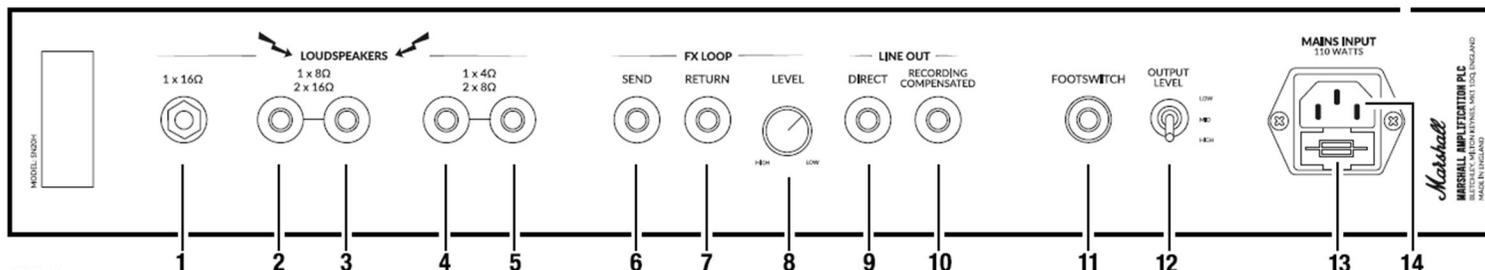
チャンネル A のゲインレベル設定。低い設定ではクリーンサウンド、高い設定でクランチからミディアムゲイン。

## 14. INPUT

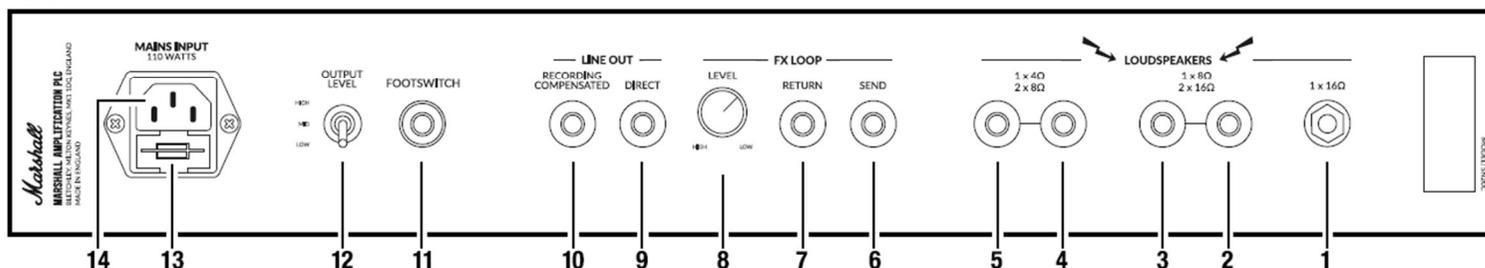
ギターのインプット

# リアパネルの機能

SN20H



SN20C



## 1. SPEAKER OUT

16Ωスピーカー出力です。

## 2. SPEAKER OUT

8Ωスピーカー出力です。16Ωスピーカーを2台接続する場合 SPEAKER OUT (3) を併用します。

## 3. SPEAKER OUT

8Ωスピーカー出力です。16Ωスピーカーを2台接続する場合 SPEAKER OUT (2) を併用します。

## 4. SPEAKER OUT

4Ωスピーカー出力です。8Ωスピーカーを2台接続する場合 SPEAKER OUT (5) を併用します。

## 5. SPEAKER OUT

4Ωスピーカー出力です。8Ωスピーカーを2台接続する場合 SPEAKER OUT (4) を併用します。

## 6. FX LOOP SEND

エフェクトループを使う場合、外部エフェクターの入口に接続します。

## 7. FX LOOP RETURN

エフェクトループを使う場合、外部エフェクターのアウトプットに接続します。

## 8. FX LOOP LEVEL

エフェクトループのレベルを-10dBV から+4dBu で調整します。

一般的にはラックエフェクターは高めの設定、コンパクトは低めに設定します。

## 9. DIRECT LINE OUT

プリアンプ信号の出力。外部パワーアンプに接続します。

注意) 必ずキャビネット、スピーカーに接続してご使用ください。パワーアンプ部に負荷をかけ、真空管、または出力トランスの故障の原因となります。

## 10. RECORDING COMPENSATED LINE OUT

レコーディング機器、インターフェイス、PA 等に接続するラインアウト。信号はレコーディングに最適なフィルター加工がされています。

注意) 必ずキャビネット、スピーカーに接続してご使用ください。パワーアンプ部に負荷をかけ、真空管、または出力トランスの故障の原因となります。

## 11. FOOTSWITCH

付属のフットスイッチ (PEDL-91050) を接続します。チャンネル切り替えとリバブのオン/オフが可能です。

## 12. OUTPUT LEVEL スイッチ

アンプ出力を 20W / 5W / 1W 以下のいずれかに設定できます。

## 13. MAIN POWER FUSE

ヒューズの定格はリアパネルに記載されています。

## 14. POWER INLET

付属の電源コードを接続します。